

練習や試合でおこなっている弓種を（複数の場合）記載ください	全日本アーチェリー連盟は、全日本ターゲットアーチェリー選手権大会からペアボウ部門を廃止する検討をしているようにみえます。（CP、RCは継続されます）ペアボウを引き続き参加できるよう、全日本アーチェリー連盟にご意見をお伝えください。
BB	社会人になってアーチェリーを始める・続ける受け皿であるペアボウの頂点の試合を継続お願いします
RC, BB	2025年の全日ターゲットでも、決勝ラウンド進出選手の交代が進み、これからペアボウが盛り上がるとしているところなのに、予告も無く2026年からペアボウを排除するのは、全ア連の使命である普及に逆行するものと思います。公式種目である以上、公平扱って頂きたい。
BB	素晴らしい記録を残す高校生もいます。どうかBBターゲットの存続をお願いいたします。
CP, BB	ぜひ残してください
BB	BBだけ全日本ターゲットから外す理由も合理性も説明も何も無い。連盟はやってはいけないことをやっている。撤回をすべき。
CP, BB	全日ターゲット、社会人ターゲット等からのペアボウ部門の排除に断固反対します。 仮に同日同会場にて別大会として実施されるとしても反対します。
CP, BB	廃止するなら明確かつ合理的な理由を明確にすべきであり、何のアナウンスもないのはおかしい。
BB	全日ターゲットにペアボウを残して下さい
CP, BB	昨今の弓具価格の高騰から一般会員数の増加にBBが一番寄与できると思います。最近では大学生もBBを始められる方もいらっしゃって徐々に活気づいているところでの、日本で一番の全日本ターゲット選手権からの排除は残念でなりません。また、同じ会員費を払っていてどうしてBBだけ試合数が減らされるのでしょうか？何の説明も理屈も無しでは通らない案件と思います。
CP	廃止の決定に至った会議の議事録を公表して欲しい。
BB	どんな背景で削除されたのか知りたいし知る権利が有ります
RC, CP, BB	日本国内のペアボウ選手も着実に増えているのに、なぜ全日本ターゲットからペアボウ部門を排除するのか、意味がわかりません。選手のほとんどが社会人だからペアボウの全日本大会を全日本社会人ターゲットに1本化したのだと推測しますが、全日本社会人選手権と全日本選手権では大会の格が違うと思います。日本最高峰の大会である全日本ターゲット選手権に出席すること、そしてその大会で勝つことに大きな意味があると思います。どうしてもリカーブやコンパウンドの参加人数を増やしたいなら最悪ペアボウの参加人数を減らすという手段もあると思います。全日本ターゲットからペアボウ部門を排除するのは一番やってはいけない手段だと思います。 今年も今まで通りペアボウ部門が全日本ターゲットに残ることを強く願います。
CP	日本のアーチェリーの多様性を守るべき リカーブもコンパウンドも楽しめないけどペアボウは楽しめる人も少なからずいます。
RC, CP, BB	全アーチェリーのため、アーチェリーを楽しむためにもペアボウの日本一を決める大会を無くすのはアーチェリーへの参入機会が失われるものと思います。
BB	今年の日本のアーチェリー界の発展のためにもBB廃止の検討は撤回すべきです
BB	たとえ別大会となる場合であっても「全日本ターゲット」のタイトル、冠大会は継続して欲しい。
RC, CP, BB	せっかく作ったのにもう廃止って？
RC, BB	アーチェリー全体の競技人口を減らしたいなら話は別だが、減らしたくないのなら、競技年数を長く続けられるBBは廃止しないで欲しい。
BB	スウェーデン、イタリア、フランス、アメリカに続き、日本のペアボウ・世界チャンピオンを排出できるよう、全日連盟にはむしろペアボウ競技者を増やす方向で、日本のアーチェリー人口を増やすべく方針を打ち出していただきたい。1番手軽にアーチェリーを楽しめるペアボウを盛り上げて行かなければ、競技人口は増えないとと思います。韓国のあると続くのではなく、ヨーロッパやアメリカのあとに続いていただきたいと考えています。
RC, CP, BB	去年までのまま、なんなら定員を増やして開催して欲しいです。
BB	今は社会人だけでなく、小中学生から高校、大学生もペアボウを始める人が増えてきています。彼らの活躍できる場所、目標の場を無くさないでください。
BB	BBは世界的に嗜まれるアーチェリーです
CP	過去のCP部門でも人口の少なさから枠の減少や優先度が低かった事例もあり、その当時は普及と競技力向上に努めた学生から社会人までの選手やグループ、お店等が長年に渡り独自での活動が奏し漸く競技としてもナショナルチームとしても認められる様になった。今まさにBB部門は世界的にもこれからの分野であり、国内でも普及や認知度を上げる選手・レクリエーションプレイヤーを増やす事が重要となる。その為の起点が全日本選手権であり、これを無くしてしまうと選手だけでなく競技としても失われ、過去のCP部門の普及と競技力向上がアジアでもかなり出遅れた現実が再び発生する事となる。
RC	確かにRCと比べれば、CP・BB部門は社会的な認知度や経済効果は少なく大会運営としても利益が上がらないのは見えてはいるが、競技の選択肢を増やす事でこの特定の競技だけでなく、アーチェリー全体の普及や活性化、人口を増やし業界だけでなく地域としての経済的利益も十二分に見込める業態である。この時点での協議縮小化はこの先5年10年更にその先の競技人口や利益を見た"投資"としての価値がある、RC以外の分野の普及や人口増加、競技力向上が今後の日本のアーチェリーの未来を創る可能性がある事を今一度考えなおして頂ければ幸いである。
BB	将来的にペアボウも挑戦したいと思っています。BB部門が廃止されると挑戦のしがいが無くなってしまうので継続を検討していただきたいです。
BB	そうなったらアーチェリー辞めます。
BB	ペアボウ部門は残して下さい
BB	最近周辺でBBを始めた人、始めようとしてる人、興味を持っている人を散見しますので是非継続出来るようご検討願います。
RC, CP, BB	せっかく、広がった種目を無くすとRCにもためにならない。底辺が広い方が、アーチェリー界に取って必要です。
RC	アーチェリー競技は、リカーブ、コンパウンド、ペアーの3種からなると考えています。全日競技でのペアーは約5年経過していますが、まだまだ若い人のペアー人口も見込まれると聞いていますので、全日本アーチェリー連盟としての経済的努力を期待します。
BB	BBも全日本ターゲット選手権に参加をお願いします
CP	アーチェリー未経験者にやってみたいスタイルを聞いてみるとほとんどがペアスタイルです。選手モチベーション維持のためにも存続ください。

RC	もうちょっとアーチェリー全体のこと考えた方が良いとおもいます、
BB	BBを廃止する理由が分かりません。競技人口も増えてきていると思います。絶対に廃止はやめて下さい。
CP	種目があるなら知名度、技術、モチベーションの向上の為に大会は必要だと思います。
CP	種目によって差別をする事は間違ってる 又、アーチェリー競技の門戸を閉ざす行いは避けた方が、連盟の発展に繋がると思います 全日本大会があることにより、目標とする大会が増えて現在ペアボウをやっている方々のモチベーションになると考えて います。
	競技者は社会人やシニア層が多く、アーチェリーの3つある弓のなかで最も手軽に始められます。
	RCやCP、そしてジュニア世代の競技者育成、競技力向上も大切ですが、趣味でアーチェリーをされている方も一競技者として挑戦できる場所があることも大切です。
CP	せっかくジュニア選手などの若い選手を増やしても辞めてしまう人(特に趣味層)が減らない限り、トータルでの競技人口增加にも繋がらず、アーチェリー競技の普及自体もより難しくなります。
	そういった意味でも全日本ターゲットアーチェリー選手権大会からペアボウ部門は廃止せずに存続させてほしい思いがあります。
	今、学生や社会人でRC,CPをやっている人が年齢を重ね、弓を変えてアーチェリーを続けられるチャンスがあれば、またやってみようかなと思う人も多いはずです。
BB	最近、ペアボウを始める方が増えてきています。全日本を目指している方がいますので、残してほしいです。
RC, CP, BB	検討のプロセス、会議議事録の開示を要求します。アスリート委員会に活躍してほしいところです まずはなぜ除外されたのかについて説明を求めて 近年の全ア連は説明がなさすぎだと感じています
RC	また同時に来年は社会人フィールドも開催が見送られます。(こちらも文書での説明なし?)理由に開催場所が確保できない他のとこのようですが、これの決定以降各所で全国大会と銘打って開催を計画しているのも事実です。開催場所がないというのはウソなのではと思ってしまいます、
	オリンピック競技ではないペアボウやフィールドは全ア連としては重視しないという宣言でしょうか
BB	改めて申し上げます『まずは説明を求めて BBの継続をお願いします。
BB	シンプルで比較的安価に始められるペアボウの普及はアーチェリー人口の増加にも繋がると思います。存続を望みます!
RC, CP	ペアボウ部門は全日本大会からは、廃止すべきでは無いと考えます
RC	アーチェリーの基本は、ペアボウなので引き続き参加を希望します。
CP	3部門共に全日本ターゲットの継続をよろしくお願ひいたします。 (もし事情があればプレイヤーにも情報開示をお願いいたします)
RC	梅津選手の活躍を楽しみにしていますので、ペアボウ部門は存続して欲しいです。
BB	生涯競技だけではなくアーチェリー入門としてもペアボウは適していると思いますので是非、全日本選手権にペアボウ部門を継続して頂きたく思います。
BB	アーチェリーの原型であるBBが、ようやく盛り上がりつつある今、水を差すような方針転換はいかがなものかと思います。 オリンピックだけが競技の目的ではありません、生涯スポーツとしてのアーチェリーの普及促進も大切なことだと思います。 歳をとった人でも気軽に始めることができるBBこそ、全国大会で競い合える環境確保に期待いたします。
RC	近年のペアボウは、他部門からの転向や低年齢の選手が増えており、アーチェリーというスポーツの裾野の維持およびを広げるためにとっても有用な部門であると考えます。そして、そうした選手にとって目標となる頂点の大会の存在はとても重要なファクターであり、ローカル試合への参加のモチベーションへつながります。全日本アーチェリー連盟様におかれましては、大所的観点から今まで通りにペアボウ部門を存続される方向に考え直されることを切に願います。
CP	皆に納得出来る理由を開示することが必要だと思います。
CP	現在BBの競技者やBBをやってみたいとう人が増えています。大学ではRCだったが社会人になる今年はBBでやっていきたいとう協会員がいます。今までRCで全日を目指していたが、次はBBで全日を目指す。全日本選手権が全てのアーチャーの最高峰の試合であり続けることを希望します。
RC, BB	BBという部門があり、BBを頑張っている人達がいて、BBを楽しんでいる人達がいる。それなのに仲間はずれにしようとするのはなぜですか?いじめですね。
RC, BB	廃止はアーチェリー全体の衰退を導くことになり、廃止によるメリットは少ないと感じます。廃止が必要なのであればそのメリットを具体的に示してください。
RC	社会人アーチェリーの競技継続および発展の観点から、ペアボウ部門の存続を強く要望申し上げます。
BB	ペアボウアジア大会への参加 去年は、チームと個人の優勝とやっと盛り上がりここで全日本 BB 無くさないで下さい。
BB	ペアボウの全日本の試合を残して欲しい
BB	ペアボウ部門を廃止する 明確な理由を教えて下さい
BB	廃止する理由を、経緯に至るまできちんと説明の上、全ア連盟メンバーの総意が得られているのか、正式に文章で教えて欲しいです。
BB	全日本選手権のペアボウ部門に出ることを目標に日々練習に励んでいます。それが無くなつては目標を失ってしまいます。全日本選手権にも、全日本社会人にもペアボウ部門を残して下さい。

BB	<p>どうしてBBのみを排除するのか？ WAとしてもアーチェリーの裾野を広げる為にBBターゲットを導入したのでは無いか。 今後の日本の人口動向からも学生の減少が進みRC競技者が減っていく事が容易に想像できます。 今般の用具の高騰なども含めてアーチェリー人口を増やす事を考えるべきです。 連盟の手が回らないのが理由ならBBだけを排除するのは理解できない。 どうしてもBBを減らすのなら会費の割引でもするべきでそうでなければ不公平になる。</p>
RC	BB廃止は時代に逆行しています。
BB	ペアボウの練習を全日本に向けやられている方は沢山います。
BB	ペアボウの魅力・楽しさをこれからも広めていきたいと思っています。
RC	アーチェリーの人口を増やすためにもあった方が良いと考えます。
RC	多くの部門の楽しみ方ができるよう継続をお願いします。
	私は、ペアボウで全日本ターゲットアーチェリー選手権大会に出場することを目指して日々練習を重ねている1人です。
	2021年に全日ターゲットにペアボウ部門が新設されて、2023年に正式種目になったことで、マイナーだったペアボウの認知が上がり人気が高まったように感じています。 YouTubeの大会の様子を見て士気が上がった方が周りにたくさんいます。 私もあの舞台に立つぞ！と思っています。
BB	<p>サイトもクリッカーもスタビライザーも何も無いペアボウは、射つこと自体に難しさがあって魅力に溢れていますし、手軽に始められるのでさらに人気が高まると思います。</p> <p>どうか、ペアボウ部門の参加継続をお願いいたします。</p>
RC	今後もBBの存続を希望します
RC	アーチェリー普及の為には個人に合った種目が必要だと思います。
RC	所属してます協会でもBBをやる方が増えてきます。今、廃止されてしまうと目標がなくなってしまい、BB競技自体がなくなってしまうと思われて残念です。せめて廃止ではなく出場人数枠を減らすなどの検討をしていただきたいです。
BB	ペアボウの試合を継続して下さい。
BB	ペアボウこそ弓の原点です。最低限の道具を使い人間の感覚で行う究極のスポーツです。誰でも始められる楽しさを味わえるスポーツを無くすることは、アーチェリーを現状より、さらにマイナースポーツにしてしまいます。 是非とも從来通りBB部門を大会から廃止するようなことはしないでいただきたく懇願致します。
BB	BBを継続お願いします。
RC	射手の感覚で矢を放つペアボウ部門をぜひ残して下さい。
BB	BB人口は確実に増えています、ぜひペアボウ部門の存続をお願いします
BB	全日本ターゲットアーチェリー選手権大会にペアボウ部門を残すことは、日本のアーチェリー人口の拡大に必ずプラスになります。みんなでアーチェリーの裾野を広げていきましょう！
BB	ようやく新しい芽が出始めたところです。晴れの舞台に立つ夢をなくなさないでください。
BB	経緯も何も説明のないままで腑に落ちません。
RC	廃止する理由を説明願います
RC, CP, BB	<p>世界的に盛り上がりを見せているペアボウは全日の試合には入れるべきだと思います。ペアボウアジア大会などでもメダリストが誕生しており、RCやCPからも転向している人が増えている状況、かつ学生などの若い選手からも弓種の一つとして認知が高まっている現状を考慮すると、全日本ターゲットでの廃止は流れに逆行するものだと考えます。全日本アーチェリー連盟はアーチェリーの普及を促進する組織もあると思いますので</p> <p>最高峰の試合である全日本ターゲットにペアボウというジャンルはあるべきかと思います。</p>
BB	少ないペアボウ人口かもしれません、頑張っている人のためにも継続をお願いします。
BB	始めてまだ3年程度ですが是非とも廃止しないでいただきたいです。
BB	リカーブを習いましたが合わないのでペアボウを練習しています。まだ中学生なのでコンパウンドは習わせてもらえないません。ペアボウの大きな大会がなくなるのはペアボウをやりたい気持ちを否定するものでとても悲しいです。(本人の意見を取り纏めて母代筆)
RC, CP, BB	BBは始めやすい種目として、社会人の方を中心に私の運営する射場でも増えてきております。そういった方々の将来的目標を潰すような動きは全日本連盟として望ましいものではないと考えます。早急に各全日本選手権への再加入をご検討ください。よろしくお願い致します。
RC	なぜ廃止する理由があるのか、明確に教えていただけますと幸いです
RC	ペアボウが最も基本的な競技だと思いますので
RC	継続をお願いします
RC	ペアボウの人口が増えているので廃止には反対です
RC	これからペアボウもやってみたいと思ってます。だからこそ継続してほしいです。よろしくお願いします。
CP	ペアボウの部門の廃止に強く反対します。
RC	継続を宜しくお願い致します。
RC	BBを存続してください
RC	全国でどの弓種もたくさん練習している子供たちがいます。ペアボウも将来目標となる、目指す大きな大会がなくならないよう、存続していただきたいです。
RC, BB	BBのみ、今あるカテゴリーを、無くす、理由が理解出来ない。
CP	BBがなくなるのは理解ができない
RC, BB	私はリカーブから始めましたがペアボウも楽しく両方やっています。最近私の周りでアーチェリーを始められた人の約半数がペアボウからです。全日本選手権でやめるなんてとんでもない。競技人口を増やすために積極的に伸ばすべきです。

保護者 RC	ペアボウを今後も続けて人たちのために存続させてほしいです。 存続希望します
子供が行っているが、本人はしていない	出場機会を守るため、存続を希望します
RC, CP, BB	<p>私が人生で最初に教わったアーチェリーはBBであり、私の中ではアーチェリーにおける原点であると考えています。もっとも弓らしく、もっとも楽しい種目であるとも思っているBBが、まさか全ア連自ら衰退させるような真似をするとは思いませんでした。</p> <p>とても信じられませんし、あまりにも冒涜的であると感じます。</p> <p>全日本小中学生にはCPとBBを作つておいてなぜ社会人からは取り上げるのでしょうか？とても疑問です。</p> <p>日本はRCが一般的であることは事実です。BBへの若い子の参入がなかなか無いことも。しかし、決してとっつきにくい種目ではありません。学生ならサイトやロッドを外せば簡単にできる、資金も抑えられる優しい種目であると感じています。私はBBやCPのおかげで弓や射に対する考え方方に新たな刺激を得ました。</p> <p>現在、高体連にはRCしかありませんが、小中学生大会にBB・CPが出来たと知った時、もしかしたら高体連でも今後見直しがあるのではとかすかな希望を感じたことは私の中で記憶に新しいです。</p> <p>運営として、そこに割く人員確保や資金面が大変なことは理解できます。</p> <p>しかし、ここまで続いた種目をなんの説明も無しに突然打ち切るのはとても不義理で不誠実な行為です。</p> <p>私は、明確な説明とBB部門の存続を切に願います。</p>
RC, CP, BB	ターゲット競技にペアボウが追加されてからシニアのカムバックが増えた。私がアーチェリーを始めた頃はRCしかなかつたが、今は1つのレンジで多様な弓の方と一緒に練習できて楽しい。BBを無くすのは改善でしかない。
BB	ペアボウ存続お願い致します。
CP	様々な年齢層の方がペアボウやられていると思います。そのなかで目標となる大会がなくなってしまうのは悲しい事だと思います。競技人口が少ないアーチェリーだと思いますので目標となる大会を継続して頂き各種種目の選択肢を残して頂きアーチェリーに携わる方が増えるためにも是非再検討をお願いいたします。
RC, BB	普及半ばでの中途半端な撤退は控えた方が良い
RC, BB	廃止する経緯の説明があれば良いかも思います。
RC	もっとコミュニケーションを取るべきかと思います
RC, BB	<p>初めてまして、今までRCを2年半程やっていましたが25年9月よりBBに転向した者です。</p> <p>今回の件を知り合いアーチャーやSNSから知った際、正直な話、大変衝撃を受けました。</p> <p>私自身まだ始めたてなので当分出場は考えておりませんが、私の周りで全日社会人・全日ターゲットBB部門を目標にされている方をたくさん知っていますし、いずれの目標として全日社会人・全日ターゲットBB部門を見ておりまし、BBを始めたきっかけは全日社会人・全日ターゲットに参加された方のお話やYouTubeで公開されている映像を見て、自分自身の感覚や射ち方で点数が左右されるけどもシンプルな弓具のみでプレーするところがとても楽しそうだと感じBBに転向を決めました。</p> <p>(今はBB転向ですがいずれはRC・CP・BBの全種をできるようになりたいと思っています。)</p> <p>BBはRCやCPよりも競技人口が少ないという面もありますが、そんな中でもBBプレイヤーは少しづつ増えていると思います。</p> <p>BBは中年代やご年配の方が多いイメージかもしれません、10~20代のプレイヤーも徐々に増えていますし、RCやCPに比べ、費用的にもどなたでも始めやすい種目かと思います。</p> <p>(社会人にとっては本当に始めやすい種目ではないでしょうか)</p> <p>若手選手も増え、そして発展しつつあるのに、何故このタイミングで全日本の対象種目からBB部門をなくすのでしょうか。</p> <p>このタイミングでなくすとしても、何故全ア連からの明確な説明がないのでしょうか。</p> <p>もしオリンピックやアジア大会が関係しているのであれば、その詳細を説明すべきではないでしょうか。</p> <p>我々選手たちが納得する・しないにしろ、このまま部門を消しませんにするのではなく今回全日本連からBB部門を無くした理由・目的・今後についてを今すぐにでも文書発信すべきかと私は思います。</p> <p>そしてどんな理由であれ、私たち全世代のBB選手から大切な夢である全日社会人・全日ターゲットBB部門を奪わないでください。</p> <p>分かりづらい文面で大変申し訳ございませんが、今私が思っていることを記載させていただきました。</p> <p>どうかよろしくお願いいたします。</p>
RC, BB	継続は大変かと思いますが、無くすることは簡単です。
BB	しかし、無くなつたものを復活させるのは大変です。
RC	<p>5年後、10年後に今の全日本アーチェリー連盟が最悪だったと言われないような連盟であり続けてください。</p> <p>ペアボウで全日本選手権を目指している方が近くにいます。無くしてほしくない気持ち一つです。</p> <p>アーチェリーの裾野を広げる上で、最初に取り掛かるのはほぼペアボウの状態の弓具です。</p> <p>近年アーチェリーの道具が高騰する中で、弓具に掛かる費用が比較的安価で済ませられるボアボウの存在はとても大きいと思います。また、生涯スポーツであるアーチェリーにおいて、その基本形であるペアボウはもっと広がってもいいのではないかでしょうか。</p> <p>ペアボウアーチャーの最高峰を決める大会においても、全日本ターゲット選手権におけるペアボウの排除は百害あって一利なしと思います。RCだけでなくCPも強化をするようになったのは喜ばしいところなので、是非ペアボウにも拡大していただけるよう、お願いする次第です。</p>
RC, CP	<p>WAのワールドカップがあり、 世界的に見ても競技人口が増加傾向にあるので BB競技者から見ると全日ターゲットから廃止するのは、目指す目標が無くなってしまい。 国内でのBBの競技人口が減ると思われる所以 廃止するべきでは無いと思います。</p>

BB	中3の子供は、ペアボウのおもしろさ、奥深さに惹かれペアボウを主にアーチェリーを楽しんでいます。もちろんリカブをやる時もあります。 RC,CP,BBどれもアーチェリー競技ですのに、大人の都合で子供のやりたい道を閉ざさないでいただきたいです。 性別、世代を超えて共に行える競技としてのアーチェリーの魅力を半減しないでください。どうかペアボウもアーチェリー競技として、全日本に残してください。
BB	廃止しないでほしいです
RC	将来したいと思ってるので廃止しないでください
RC	普及させなければならないマイナースポーツであるのに「窓口」を狭めるのは如何なものか
RC	種類が多いのは運営上大変ではあるとか存じますが、そのを広げるためには廃止すべきではないと考えます。 ペアボウはシニア選手が多く、競技人口の間口を広げるために有効です。
RC, CP	最近は学生ペアボウ選手も見るようになり、気軽にチャレンジできる種目としての存在意義も感じます。 学連と連携して若年層に選手を増やすなどの取り組みを提案するとともに、選手層の拡大と全日本選手権の継続を期待します。
RC, CP, BB	全日本は、全ての種別の方にできる権利があります。
RC	なぜ廃止しようとするのか、その明確な理由を説明すべきです。
RC	全日本ターゲットアーチェリー選手権大会におけるペアボウ部門の存続を希望します
CP	全ア連はいろんな現場の声をもっと聞くべく。出来ない役員（みみを持たない）は役員で在籍する必要無い。早期に辞退すべきだと思う。
RC, CP, BB	BB,CP,RC3種目揃ってこそその全日本選手権だと思います。BB部門の全日ターゲット存続をよろしくお願ひします。社会人フィールドの来年以降の開催もよろしくお願ひします。
CP	全日ターゲットのBB部門存続をお願いします。来年以降の社会人フィールドの開催もよろしくお願ひします。
BB	仮にオリンピック部門でないことを理由にしているのなら今後のアーチェリー競技普及にも逆行していることと思われ本末転倒である
CP	アーチェリー種目の中で、最も難易度が高く価値があるのはBBと考えています。かつては、全日本Fでも決勝ラウンドの最終種目！眞のフィールドチャンピオンはBBであり、誉れ高い地位でした。近年、ターゲット、18Wの全日本選手権種目となり、新しい選手も出て来て競技のレベルもUPし試合も大変盛り上がっています。世界的な流れなら、仕方ないかも知れないが、そうでないなら、全日本選手権の中で存続をお願いします。
RC	全日本ターゲットアーチェリー選手権大会での、ペアボウ部門開催の継続を、強く希望いたします。
RC	廃止反対
CP	ペアボウの全日ターゲットとなくさないでほしい。
RC, BB	BBのみ全日本ターゲットと全日本社会人ターゲットを統合して全日本ペアボウ選手権にする、要はBBのみメジャー大会ひとつ削減ということなのかと思います。数年前にターゲットやインドアにBB部門を設けて門戸を広げておきながら、何ら意見聴取や説明もなく選手たちのハシゴを外すようなやり方はいかがなものでしょうか。 BBは、アーチェリーの入り口として、また生涯スポーツとしてのアーチェリーの象徴的な存在かと思います。その魅力を連盟みずからおとしめるようなことのないよう、意思決定をさせていただきたいです。
RC, BB	ペアボウ競技人口増加により現在、東京都の射場（小金井公園、光が丘公園）ではペアボウ用の的が設置され多くの人がペアボウ競技を楽しんでいます。 生涯スポーツとしてアーチェリーを続けるにあたり、目標となる全日本ターゲットアーチェリー選手権大会からペアボウ部門を廃止するなどという暴挙には断固反対します。
RC, CP	BBこそがアーチェリーの裾野を広げるのに最適な種目だと思うので、是非存続させてください
競技は引退	なぜ無くしたのか説明を
RC	一学生として、BBの存続を願っています。
RC	小中学生からの流れもあると思いますので、存続を支持します～！皆の集まる場を是非減らさないでいただけると嬉しいと思います。
BB	ペアボウの参加を求めます
RC	競技の多様性は大切かと思います。大会での部門が廃止されると、ペアボウをしている方だけではなくアーチェリー人口が減ってしまうのではとも思います。
RC, BB	BBを実施しない理由を明確にしてください
RC, BB	これからの中止の世代のためにも、選択肢があるべきだとおもいます。
RC, CP, BB	RC・CP・BBと20年親しんでいます。71歳になってBBにたどり着き高齢の競技だと思います。筋肉が弱ってきててもクリッカ-の無いBBを残してください。
RC	アーチェリー競技の浸透・普及を第一に考えると大会から部門廃止は逆行していると思える。
RC	特に無くす必要性を感じないです。続ける人がいるなら残って欲しい！
RC	アーチェリーに携わる全ての方々に正しく説明をすべきで、連盟の意思を持った決定であることの説明は必要。一方で、社会人フィールドの中止、社会人フィールドでの決勝ラウンドの中止、今回のペアボウ部門の縮小化の問題。中止や縮小化はアーチェリー界の盛り上がりを下げてしまう。アーチェリー界にとって致命的な問題になりかねない。裾野を拡大する旗振りの中心となる連盟自らが、決断したことは非常に残念。アーチェリーに携わる人々、皆で開催できる方法の議論が必要、競技者が減っては本末転倒である。
RC	さらに、昨年の社会人フィールドの開会式にて、フィールドアーチェリーが盛り上がらないと、試合が消滅するという趣旨の発言もあった。試合をなくしたのは連盟であるのに、どういう意図かも未だに理解できない。
RC	アーチェリーの人口は決して多くない、裾野を広げる活動を妨げることの無いようにしていただきたい
RC	ペアボウを積極的に排除する理由も見当たらず、アーチェリー競技の広がりを阻害する事になる。
RC	可能性を潰さないでください
RC, CP	アーチェリーの原点とも言えるBBは大事です。
BB	ペアボウ継続希望
RC	ペアボウを部門を残して頂きたいです。
RC	2022年からこの大会にBB部門が加えられ、競技人口も年々増加し、アーチェリー人口の増加に役立っていると思います。是非、全日本ターゲットアーチェリー選手権大会に引き続き参加出来るようお願い致します。
RC	ペアの継続を希望します

RC	ペアボウの参加を継続を希望します
RC, CP, BB	アーチェリーの多様性を失くさないでください アーチェリー技術の向上や、競技人口を増やすためには BBは必要です。
RC, BB	
BB	私にとっては、ペアボウはアーチェリーの原点にある喜びを思い出させてくれる、奥深くとても面白い種目です。 多くのペアボウアーチャーにとって、全日本選手権は日々の練習の大きな支えでした。最高峰の舞台から本種目がなくなることは、競技の普及と選手のモチベーションにとって大きな損失であり、非常に残念です。 もし新たな選手権を設立するのであれば、他の大会との同時開催ではなく、ペアボウ独自の独立した大会として開催していただきたいです。そして誰もが目標としたくなるような最高峰のステータスを持ち、より多くの仲間と切磋琢磨していく素晴らしい大会になることを願っています。
RC	ターゲットアーチェリー選手権大会からペアボウ部門の存続を希望します。
RC	廃止する理由が良く分かりません。廃止に至る理由を明確に発表するか本件に関わる会議の議事録や資料等の記録を公表してほしいです。
これから始める	審判員や会場の確保等、大会運営は大変だと思いますが廃止する理由が公表されないと競技人口の減少に繋がると思います。
RC	ペアボウは最も安価にアーチェリーを始められる部門だと思います。説明を受けた際にそう理解しました。廃止しないでほしいです。
RC, CP, BB	BBだけ全日本ターゲットから外す説明が何も無い事とアーチェリーの今の流れに逆行している様に思う 今までペアボウの普及にも力を入れましょと謳ってきて、ここまで順当に競技人口が増えてきたと思います。梯子をかけて、登れ登れと言っておいて、皆が登ったら あっさり外してしまう、そんなやり方はおかしいと思います。なぜ廃止なのか、選手が納得のいく説明をしなければなりません。役員が幅を利かせるだけの、役員のための連盟ではありません。選手あっての連盟です。もう少し選手のことを考えられる組織であることを願います。
RC, CP, BB, ロングボウ	社会人ターゲットに於いて「第1回ペアボウ選手権」とあるが、部門を独立させるつもりなのか?であるなら CPもRCもそれぞれでやるべき。 そもそも全日本アーチェリーを名乗るなら「アーチェリー」を区別するのはいかがなものか。「全日本ターゲットアーチェリー選手権」と銘打つなら全てのアーチェリー競技に於いて、それぞれの日本一を決めるべき大会であるべきではないか。年1回の最も権威ある大会であるなら、それらしい運営を期待する。
RC, CP	日本のペアボウが盛り上がり競技人口が増えています。そのような状況で何故ペアボウ部門を全日本から外すのでしょうか。無くすのは簡単ですが復活させることは難しいです。日本のアーチェリー界を盛り上げるためにも全日本でのペアボウ部門存続をお願い致します。
RC	ぼくもいすれペアボウをしてみたいとおもっており、そのときには全日にでたいで無くさないでほしいです。
RC	ペアボウ部門をなくさないでください
RC, BB	かっこいいので無くさないで下さい
RC, CP	アーチェリー競技の将来的な普及において、ターゲット種目としてのペアボウは有望と考えています。
RC	ペアボウも立派なアーチェリー競技。 少しでも分母を増やす為に廃止すべきでは無い。
RC	やっと若い世代のBBアーチャーが 増えてきて健全な発展を見せているBB部門全日本選手権からの廃止には納得できません。 JOCや上部団体の顔色ばかり見ていないで、競技者の方を見て事業を展開してください。
CP	大勢のペアアーチャーの大きな目標を奪わないで欲しい。
CP	ペアだけ別にするのは平等ではない。是非一緒に開催して欲しい
RC	選手たちに、選択肢をお願いします。
RC	ぜひ残していただきたい!
CP	BB部門も競技人口はありますのでぜひ残してもらいたいです
RC, BB	続けることが大切です。最初は点数が低くても、次第に大会新が上がっていきます。低い点数で優勝すれば、その点数をみた選手が、これなら自分も全日本にでられる…と、頑張るからです。 時間はかかりますが、そうやって日本からメダリストが出るようになったのではないか?
RC	色々な部門があった方が競技人口の増加にも繋がるし、世界大会があるので廃止しなくともよいのではないかでしょうか。
RC, BB	突然止めるのは無しにして
RC, CP	種別関係なくすべてのアーチェリー競技者が楽しめるようにしてほしい
指導者審判員	全日本選手権は国内最高峰の競技会であるので、全ての部門を実施すべき大会だと思います。
RC	最近の全ア連はおかしい判断をしています。 2025年社会人フィールドは決勝ラウンドを行わず又今年は社会人 Fは行われない。ここに来てBBを締め出しにかかる。オリンピック至上主義でなく全方位で行って欲しい。社会人 TGの参加人数の増加はエントリー費の収入増に貢献していますね。表彰人数が増えたのは良いと思いますが、BB締め出しあるはもってのほかです。考え方を要求します。
RC	原因・理由、経緯を開示せず、または総会で審議したかどうかはっきりさせないで強行するのは、組織として得はないです。周知と理解を得ないまま進めることなく、従来通りBB(ペアボウ)部門の継続を望みます。
RC	詳しいことはわかりませんが、 裾野を狭めることになるのはよくないと思います。
CP	これから成長させるべき
BB	是非存続をお願いします。
RC	なぜペアだけなのかを教えて欲しい
RC	トップのみで決めるのは理解できない。 最低限、説明はするべき

	<p>中学1年でペアボウに出会い今年で3年目です。はじめはリカーブから入りましたが、どちらも経験することでフォームの大切さやリカーブについている器具の意味を体感から学んでいます。</p> <p>ペアボウを始めて、ペアボウが大好きになって、ペアボウをもっともっと上手くなりたい！と思えば思うほど、クラブから孤立していく空気を感じました。</p> <p>だからこそ、もっともっと上手くなつて</p> <p>ペアボウだから、リカーブだから</p> <p>って言われないように頑張りたいと思っています。</p> <p>高体連も学連にもペアボウはないということは、リカーブより活躍できる場がないこともわかっているけど、自分がやりたい道を進みたいと決めました。</p> <p>身近な冷たい空気は実力で跳ね返します。</p> <p>だから、どうか、アーチェリーを守る連盟さんが、ペアボウだけをのけものにするようなことをしないでください。アーチェリーが大好きです。こんな形で居場所をなくさないでください。</p> <p>お願いします。</p>
RC, BB	<p>全日本は練習していて目標となる大会の1つです。何歳になっても始められるのがペアボウで、幅広い年代の方が全日本にチャレンジ出来る部門でもあると思います。是非廃止中止のご検討をお願いします。</p>
RC	なぜ社員総会に計らずに大会を減らすような決定を理事会で決めてしまうのか理解できません。
RC, CP, BB	<p>まずは理由を聞かせてもらおうか</p> <p>競技人口が減るなか、全日の間口が狭まることは目標が減ることであり、競技継続の士気が下がります。</p> <p>全日は国際大会に向けて行われるものであり、参加人数問題があるのだとするならば、全ア連の競技人口を広める努力の怠りではないかと思います。</p> <p>継続をお願いします。</p>
RC, BB	<p>BB</p> <p>ペアボウは手軽に子供から年配者まで楽しめる競技です、私も祖父と一緒に試合に出てました、もっと広めていただきたいです。</p> <p>アーチェリー人口を増やす、続ける時の選択肢を増やすためにも種目を減らしてほしくないです。初心者教室でも道具を揃える事が難しい・70メートルまで到達する事が難しいため続く人が少ないと感じます。ペアボウは道具を揃える時の費用面や体力面でも年齢問わず続けやすいと考えております。実際わたし自身、身体の故障でリカーブができなくなった際、負担が軽いペアボウと出会ったお陰でアーチェリーを辞めずに続ける事ができ、憧れだった全日本にも出る事ができました。そこで多くの人と知り合い、またアーチェリーに興味がある人へペアボウという選択肢もあると勧める事が増えました。ペアボウの競技人口はまだ少ないですが、ジュニア層も増えていると感じますし、目指せる大会の数がいくつもある事で全体のレベルも上がり上がっていくのではと考えております。</p>
RC	全日ターゲットにはすべての部門を残すべきであると考えます。競技者が『日本1位』を目指せる大会として、トップ選手と同じ会場で試合ができる機会として、存続することが競技人口をささえる土台にもなると思います。仮に運営上の負担などが理由にあるのであれば、廃止ではなくスポンサー確保や参加費など、別の手段で問題を解決していくのも運営側の仕事の1つではないでしょうか。時短・規模縮小ばかりが正解ではない、よって存続を望みます。
CP	ペアボウ部門を廃止してしまうことは、幅広い年齢層の競技参加の機会を喪失してしまうことにつながるかと思われます。
RC, BB	<p>ペアボウのターゲットラウンドが公認記録となり翌年からリカーブより転身しました。</p> <p>リカーブと違った奥深さと弓の新しい楽しみ方を感じる4年間となりました。まだまだ上手くなりたいので練習も頑張りたいです。またペアボウを経験してリカーブをまた射ちたくもなりました。これから県内の選手にペアボウの楽しさを伝えて仲間を増やしていきたいと考えています。もう一度検討しなおしていただきたいと考えます。</p>
RC	ペアボウはアーチェラーの裾野を広げる種目になりうると思っております。業界の発展の為にも継続を期待しております。
RC	アーチェリー人口を減少させるようなことをなぜするのでしょうか。もっと発展的なことを検討してはいかがでしょうか。
RC	全ア連さんが放置していた部門が盛り上がってきたのに、何もしてこなかった全ア連さんが余計な邪魔をしないでいただきたい。
RC	<p>ペアボウのターゲット種目が始まり、これまでフィールドアーチェリーがメインだったBB選手の方々だけでなく、RCやCPから転向した方も大舞台の全日ターゲットに向けていきいきと練習されているのを見て、アーチェリー界のすそ野がさらに広がってこれからどんどん盛り上がりしていくものと期待していました。ところが全日本ターゲットの開催予定からBB部門が消えているのを目にし、「なんでこんな時に」という思いで非常に残念な気持ちになりました。</p> <p>ターゲット競技の日本最高峰の大会にどの弓種でも出場できる機会を全ア連が提供することはごくごく普通の事だと思います。現状の競技人口を鑑みて出場者の枠を過剰に増やす必要まではないと思いますが、将来のペアボウ競技発展のためにも憧れの舞台として全日本大会のBB部門が存続されるべきだと考えます。そしてペアボウだけでなく、日本のアーチェリー界全体の活性化につながって欲しいと期待します。</p> <p>また、私も深く携わっているフィールド競技では、世界選手権の中でRC・CP・BBの3選手が混合でチームとなるユニークな団体戦もあります。全日本選手権を通じてBB部門でターゲット競技の技術が洗練され、それに伴ってフィールド競技のレベルも底上げが起り、ゆくゆくは世界フィールドの団体戦で日本チームが表彰台に上がるのを見てみたいです。</p>
RC	ペアボウはアーチェラーの裾野を広げる種目になりうると思っております。業界の発展の為にも継続を期待しております。
RC, CP	BB競技も検討しています。日本最高峰の競技会の幅を維持拡大していくことが、競技人口の裾野拡大にもつながると思いますのでご検討お願い致します。
現在おこなっていない	どなたでも入りやすい競技なので是非続けて頂きたい
RC	全国的に他の競技として人員が少ないので、わざわざ部門を減らしてアーチェリー人口を少なくするのは全日本アーチェリー連盟として間違っています
BB	BBという文化の存続を排除すべきではない。
RC, CP	アーチェリーの原点にして老若男女できるBBは今後も継続して残して欲しいです！自分も初めてはBBから始めてRC,CPと進んだので競技として大事だと思います。
RC	またBBの試合を目指して日々励まれてるみなさんもいるのでその人たちの希望をつまないで欲しいです。
RC	アーチェリーの普及拡大の為に、参加者が増える方向で進めて欲しい。

RC, CP, BB	せっかくBBの人口が増えているのに、是非残していただきたいです。一度見直して下さいお願ひいたします。	BBならされる方もおられます、考え方もう一度見直して下さいお願ひいたします。
RC, CP	選手が混乱していますので、説明が必要に思います。連盟でも何か困り事があり、結論に至った背景があると思います。オープンで風通しの良い連盟になって欲しいです。	
RC, CP	道具の力を最小限に抑え、自らの感覚と技術だけで射抜くペアボウは、まさにアーチェリーの「原点」であり、その奥深さに魅了されている方が少なくありません。ペアボウで頑張っている大人の選手もいますし、小中学生（ジュニア）の選手もペアボウで全国大会を目指したいという思いで競技をされています。つきましてはペアボウの部門を継続されますよう、お願ひ申し上げます。	
RC, BB	私は今、RCとBBを練習していますが、将来的にBBで全国に出たいと考えています。そのため、可能な限り残してほしいです。将来につなげるためにもよろしくお願ひします。	
RC	ペアボウを廃止しなくて良いと思います。	これといった理由はありませんが、知っている方などがやっていて、無くす必要はないと思ったからです。
RC	多種多様にできる競技がアーチェリーの魅力です。多くの方々が楽しめる機会を減らさないために、よくお考え下さい。	オリンピック種目ではありませんが、アーチェリーの種目としては残してもよろしいのではないかでしょうか？
BB	目標を失ったアーチャーは何処にいくのか。	全日本ターゲットアーチェリー選手権からペアボウ競技を除外する方針について、深い懸念を表明いたします。
<p>ペアボウ競技は世界アーチェリー連盟（WA）において正式に認められている競技種別であり、日本国内においても長年にわたり競技人口の拡大と普及に寄与してきました。</p> <p>用具の制約が比較的少なく、年齢や経験を問わず取り組みやすいペアボウは、アーチェリー競技全体の裾野を支える重要な存在です。これを全日本ターゲット選手権から除外することは、競技人口の減少を招くだけでなく、若年層や中高年層の参加意欲を低下させる要因となりかねません。</p> <p>また、全日本ターゲットアーチェリー選手権は、特定の種目のみを重視する大会ではなく、日本のアーチェリー競技の多様性と到達点を示す場であるべきだと考えます。ペアボウ競技の存在は、その価値を損なうものではなく、むしろ大会全体の意義を高めるものです。</p> <p>これまで全日本ターゲット選手権を目標として努力を重ねてきたペアボウ選手、ならびに地方協会や関係者の思いを尊重し、引き続きペアボウ競技が参加できる形での再検討を強く要望いたします。</p>		
RC, CP	何の通達もなしに部門を廃止するのはおかしいと思う	
RC	弓の原点です、無くすべきではありません。	
RC	本当であればまず背景を説明して欲しいです。	
RC	ペアボウは、サイトなどの補助器具を用いず、自身の感覚と技術がより強く求められる種目であり、アーチェリー本来の魅力を体現した部門だと感じています。また、初心者から競技志向の選手まで幅広い層が取り組みやすく、競技人口の拡大や裾野の広がりにも大きく貢献してきた種目だと思います。	
RC	実際に、全国各地の大会や大学・社会人の現場では、ペアボウ競技に魅力を感じて競技を始める選手も多く、全日本選手権という最高峰の舞台が存在することが、選手たちの大きな目標とモチベーションになっています。その舞台が失われることは、ペアボウ選手だけでなく、日本のアーチェリー全体にとっても大きな損失ではないかと感じます。	
BB	裾野を広げるためにも、ペアボウの存在は貴重だと思います。	
RC, CP	すべての弓種があって初めてアーチェリー競技だと思っています。ペアボウを外す理由がわからないです。ペアボウは一番シンプルで、入門者にとって一番費用をかけずに始められます。普及という意味合いでペアボウは外せないと考えます。	
RC	ペアボウを残して下さい。	
RC	なぜ廃止なのか...色々な理由があるとは想いますが、	
RC	私はRCやコンパウンドよりも単純な弓のスタイルBBでの競技を残してほしいと想っています。	
CP, BB	考えを説明して欲しいです	
CP, ロングボウ	参加希望者が多く居るのにわざわざ廃止する事は無いと思う	全国レベルでペアボウ部門を失うことは、日本のアーチェリー界にとって大きな損失であり、同時に深刻な不利益もあります。近年、ペアボウは海外で着実に人気が高まっており、日本だけがこの流れに逆行して部門を廃止するのは、時代感覚に合っていないと言わざるを得ません。率直に言えば、サイトを使用しないアーチャー全體に対して、軽視や差別と受け取られかねない判断だと感じています。